

社会福祉法人 宗得会

椿 横須賀 園

30周年記念誌



|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 法人理念                           | 1  |
| 謝辞                             | 2  |
| 社会福祉法人宗得会 理事長 浅葉宗利             | 2  |
| 横須賀椿園 施設長 浅葉統太                 | 3  |
| 祝辞                             | 4  |
| 衆議院議員 小泉進次郎                    | 4  |
| 横須賀市長 上地克明                     | 5  |
| 武山地区社会福祉協議会 会長 永嶋律子            |    |
| 大楠地区社会福祉協議会 会長 長塚武士            | 6  |
| 法人沿革                           | 7  |
| 30周年記念 <sup>ていだん</sup> 鼎談      |    |
| 「横須賀市西地区、高齢者・児童福祉の30年の歩みとこれから」 | 8  |
| 事業紹介                           |    |
| 特別養護老人ホーム 横須賀椿園                |    |
| 横須賀椿園ケアセンター 短期入所生活介護           | 11 |
| 横須賀椿園ケアセンター 通所介護               |    |
| デイサービスセンター椿 認知症対応型通所介護         | 12 |
| グループホームつばき 認知症対応型共同生活介護        |    |
| つばき園居宅介護支援センター                 | 13 |
| 職員挨拶                           | 14 |
| おもいで【春夏秋冬】                     | 17 |
| 30周年記念誌協賛企業様一覧                 | 21 |

# 法人理念

高齢者や障がい者が、健やかで暮らしやすい、  
地域づくりに貢献する法人をめざします

## 法人の基本方針

1. 当法人の事業を利用されるご利用者及びご家族等に対して、そのニーズに即したサービスが提供できるよう、法人全体が一体となって取組んでいきます
2. 当法人の全職員は法人の財産であり、積極的に内外の研修に参加し、地域に貢献できるように、人材育成の強化を図ります
3. 当法人は、勤務する全ての職員が心身共に「健康」で、「和」を持って業務に専念できる環境を整えることに、努力します
4. 当法人に勤務する全ての職員は、ご利用者及びご家族等の個人情報厳守し、身体拘束及び、心身に関わる全ての虐待行為を行わないことを誓います
5. 当法人の全ての役職員は、法令・条例及び、法人が定める諸規定等を遵守し、地域住民から信頼を得られる運営を目指します
6. 当法人に勤務する全ての職員は、非常災害時の対応を習得し、ご利用者の生命保全に尽くします。また「防災協定」に基づき、町内会等と相互の助け合いを行い、協働して防災に務めていきます



# 謝辞

## 社会福祉法人宗得会

理事長 浅葉 宗利



社会福祉法人宗得会 横須賀椿園は、ご利用者ならびにご家族、多くの皆さまのお陰で30周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

私は、昭和19年(1944年)に父 浅葉椿太郎と母 芳子の長男として生まれました。特別養護老人ホーム横須賀椿園の椿は、父の椿太郎から名称をつけました。父は、浅葉家7代目を継ぎ、農業をしておりました。現在の横須賀椿園、グループホームつばき、デイサービスセンター椿の建物の土地は、以前は田圃で、戦前から父母が米を耕作していました。今のようにトラクターが有りませんでしたので、万能(まんのう)で一畝ひとくわ手で田圃を起こして、米作りをしていました。その土地に、平成7年(1995年)10月に横須賀椿園を開設致しました。

開所式の際に、「建物(ハード)は出来たが、運営(ソフト)の部分が大切である」との、小泉純一郎元総理からのご挨拶を頂き、私は今でも肝に命じております。開所の目的は、地域のお年寄りが、老後最後の人生を、少しでも安心してお過ごし頂ければとの思いからであります。

平成12年(2000年)に介護保険制度の施行により、それまでの措置制度からの移行という大きな転換点を迎えました。介護施設はより経営に重点をおき、介護職員の確保と充実に力を注ぐ必要が、ますます高まっています。私は、介護の力は生命を長らうことが出来ると、確信しております。宗得会の職員には、ご利用者のために頑張っていていただいて、介護を通じて共に成長していただきたいと願っております。

創立30周年という節目を迎えましたが、これからも地域福祉に貢献して行かねばと、心あらたに思っております。ふたたび次の30年先(2055年)の未来に向けて、行政と地域の皆様、福祉関係者の皆様の御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

# 謝辞

## 横須賀椿園

施設長 浅葉 統太



社会福祉法人宗得会及び特別養護老人ホーム横須賀椿園は、創立30周年を迎えることができました。創立から30年が経過し、少子高齢社会が進む中で、労働人口が減少しており、時代とともに制度と施設を取り巻く環境も大きく変化しております。

また、令和元年の年末から新型コロナウイルスの流行が始まり、翌年1月には日本で最初の感染者が確認され、緊急事態宣言が発令されるなど、今まで経験したことのない制限や、感染対策を迫られた時期もありました。

これらの難関を乗り越えてこられたのも、宗得会をご利用いただいているご利用者、そのご家族、ボランティア等で施設の活動をご支援いただいている地域の皆様、いつもご指導ご鞭撻をいただいている行政及び福祉関係機関の皆様、法人理念の実現のため、日頃より高齢者福祉に尽力し、法人を支えている職員全員、今まで関わって下さった全ての皆様のお力添えがあってこそと深く感謝を申し上げます。

私は平成13年10月に入職し、平成18年6月に横須賀椿園の施設長を拝命しました。そこから、今日まで携わらせていただいておりますが、振り返ると非常に多くの出会い（喜び）と、別れ（悲しみ）がありました。ふとしたきっかけで出会い、そこに『縁』が生まれます。福祉施設にとって人との繋がり『縁』は、非常に大切でかけがえのないものです。

また、出会いがあれば必ず別れるときが訪れます。特に、特別養護老人ホームは、人生の最期のときまで、ご家族やご支援者と一緒に関わらせていただきます。ご利用者の人生の大切な時間を、共に過ごさせていただいているという自覚を持ち、今まで経験させていただいたこと、教えていただいたことを活かして、安心・安全・安楽に生活していただけるよう取り組んで参ります。

現在、宗得会は特別養護老人ホームをはじめ、短期入所生活介護、通所介護、居宅介護支援の他に、高齢社会の大きな課題にもなっている認知症に対応するために、認知症対応型のグループホームと、認知症対応型デイサービスを展開しております。

私が生まれ育った太田和の地が、福祉が充実し、高齢者になっても安心して生活できる地域となるよう、職員と一緒に取り組んで参りますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

# 祝辞

衆議院議員(横須賀・三浦選出)

防衛大臣(前農林水産大臣)

小泉 進次郎

豊かな人生百年時代を、  
皆さまとともに



社会福祉法人宗得会の創立三十周年を心よりお慶び申し上げます。浅葉宗利理事長や浅葉統太施設長をはじめ、長年にわたり福祉の充実にご尽力いただいている全ての皆さまに深く敬意を表します。

地域に根差し、地域を豊かにする政策の実現は、政治家として私の大きな役割です。横須賀・三浦両市は横浜市に隣接し、東京二十三区も通勤圏内という立地もあり、介護分野を含む働き手の確保が大きな課題になっています。

特に介護分野では、国の定める地域ごとの報酬基準（公定価格）が、横浜市や都内と大きな開きがあり、働き手の流出につながっていたため、待遇の差を少しでも縮小することが二十年来の悲願でした。

「現場で働く皆さんの手取りを増やしたい」という強い思いで厚生労働省と協議を重ね、昨年四月の介護報酬改定では大都市に接しており、かつ半島に立地するという地理的な条件を考慮できることになり、横須賀・三浦両市、そして葉山町の等級を上げて待遇改善を実現することができました。

介護施設を運営する「横須賀地区福祉施設連絡会」の皆さまには毎年、国会にお越しいただきしており、現場の率直な声を直接伺える機会になっています。本年八月の意見交換の際には、コメを含む食料品の高騰が続く中で、いかに入所者の方に不自由を感じさせずに、おいしい食事を提供しているかなどのご苦労をお聞きしました。

五月に農林水産大臣に就任してから、一年で約二倍に急騰したコメの価格を安定させるために、随意契約による備蓄米放出などに取り組んでいます。このことについても、参加者の皆さまから「米食の機会を増やすことができた」とうれしい声を聞かせていただきました。

コメの価格を安定化することは日頃の負担を減らすだけではなく、将来的には消費者のコメ離れを防ぐことにもつながります。農水大臣としてコメ政策を抜本的に見直し、安定供給に向けた体制を推進するとともに、農家経営が価格変動によって脅かされない対策も進めていきます。

結びに、社会福祉法人宗得会のさらなるご発展と、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

(この祝辞は、農林水産大臣在任時にご寄稿頂いたものです。)